

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	マネーマネジメント I (TDB134)	配当学年	1
講義名（コード）	マネーマネジメント I (TDB134)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	グローバルビジネス	講義期間	春
専攻		履修区分	必修
授業担当者	沼波・宮沢	授業形態	講義
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	はい
実務者教員特記欄	中央銀行に長年携わり、欧州局長を務めた教員が講義する。		

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	通貨、銀行、金融機関と金融市場の基礎知識を学ぶ
到達目標	金融機関と金融市場の基礎的キーワードを身につけ、概要を説明できる
全体の内容と概要	金融市場での金融取引の色々を基礎レベルで学び、FinTechの将来性を理解する
授業時間外の学修	新聞、ニュースの経済面を読む
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

5. 本授業科目の授業計画			
回	回	講師	授業内容
1	No1	沼波 様	・ お金と金融の役割 ・ この講義の主な内容
2	No2	沼波 様	・ 現金とデジタル通貨
3	No3	沼波 様	・ 金融商品の種類 ・ 資産運用の原則
4	No4	沼波 様	・ 金融機関の業務と抱えるリスク
5	No5	沼波 様	・ 中央銀行の機能と独立性
6	No6	沼波 様	・ 金融危機の経験(1)—日本におけるバブルの発生と崩壊
7	No7	沼波 様	・ 金融危機の経験(2)—世界的な金融危機
8	No8	ソラミツ 宮沢社長	仮想通貨とブロックチェーン技術
9	No9	ソラミツ 宮沢社長	中央銀行デジタル通貨（カンボジア国立銀行事例含む）
10	No10	ソラミツ 宮沢社長	Fintechの実装された社会と地方創生
11	No11	沼波 様	・ 中央銀行は資産価格バブルにどう対応すべきか？ ・ 中央銀行が直面する課題
12	No12	沼波 様	・ 非伝統的金融政策・日本銀行のQQE（「異次元緩和」）
13	No13	沼波 様	・ QQEの隠れたコスト
14	No14	沼波 様	・ 日本の財政赤字 ・ 日本経済を巡る「不都合な真実」
15	No15	授業なし	授業なし

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	・ 本教員は、国際金融機関各種業務を歴任。大手企業の取締役、学校等の高等教育機関にて指導を展開している。